



クリーンアップ分科会を立ち上げ

日本原子力学会では福島第 1 原子力発電所の事故を調査する「原子力安全」調査専門委員会のもとに放射性物質による汚染の除去や環境修復について分析し、課題の検討と解決に向けての提言を行うことを目的としたクリーンアップ分科会を立ち上げました。そこでは当面の検討事項として、福島第 1 原子力発電所について汚染除去や放射性廃棄物の処理処分方策について、各分野の専門家から構成される中立機関である学会として必要に応じて提言を行います。また発電所敷地外の汚染状況の把握、分析を行い、種々の大量な汚染物の除染、処理についての課題を摘出して、今後関係機関で実施される活動について提言をおこないます。また上記を実施するために、速やかで恒常的な環境放射線モニタリングシステムや、データ解析・分析機能の必要性を提言します。さらに中長期的な取り組みとしては、TMI やチェルノブイル原子力発電所事故の事例と比較して、福島第 1 原子力発電所敷地の修復に関する課題を摘出します。特に、発電所敷地外の汚染については実現可能な修復プロセスや技術について課題を整理し提言を行います。また、関係機関が作成する修復計画についてチェックを行い、必要に応じて新たなる課題や改良点について提言を行います。またこれらにあたっては地域住民の方々と交流しながら活動を行います。さらに、これらの活動について海外機関、諸国との交流を行い、正確な情報を発信する予定です。